

臥龍 昭和二十一年八月二十七日
第三種郵便物認可

平成三十一年一月五日発行

(毎月二回一日・五日発行)

第八十卷三号 一月号

(通卷一、七五九号)

臥龍

2019

1月号

締切 1月30日

りけむ

「けむり」文：あらいそうめい

こうばの けむりが たちのぼる

むくむく あがる あおいそら

きょうも がんばる おとうさん

たきびの けむりが においます

ひとすじ のぼる たかいそら

おいもが やけたと おじいさん

さかなの けむりが においます

おちる あぶらが ひとつもえて

おいしそうだと おかあさん

おねがい

かなでなまえをかいいた人は、
左下にえんびつでかんじの
せい・なまえをかいて下さい。

しめきり

一月三十日

(出品は一人一点に限る)

せいしよには

しづめい・こ人は
県名又は市名

幼年・小一年

きゆう

せい・なまえ



「左右」(さゆう)

新年あけておめでとうございます。
「おうだんほどをわたる時には、安全かどうか左右をしっかりとしかめてからわたりましょう。」など、左右ということばはいろいろ使われますね。そのほかどんな使い方をしますか。左右の筆順がちがうのもおぼえてね。

※ ※

左：一画めは「右」のよこかくよりみじかく、右上がりに書きます。二画めはのびやかにほらいます。

※

右：一画めは短くし二画めを長く書きます。「口」のたてかくは内側にかたむけます。

※筆順

一ナ左左左

ノナオ右右

しめきり

一月三十日

(出品は一人一点に限る)

お清書には

しづめい・個人は
県名又は市名

小

二

きゆう

せい・なまえ

用意

「用意」(ようい)

「用意」という意味は、いろいろな時に使いますね。「食事の用意をする」、「明日使う、教科書や体操着などの用意をする」など。かけっこで、スタートの合図に、「位置について、用意、ドン」などともいいますね。むずかしい言葉ですが、「用意周到」という言葉もあります。

※ ※

用：五画めが中心で、横画をほぼ二等分します。横画は、ほぼ等間隔に書きます。二画めは終筆を少しそらして、二画めの縦画は、やや反るように書きます。
意：一画めが文字の中心になります。「立」は、やや扁平に、五画めを長く書きます。「心」を、横長に書きます。

※筆順

ノ 月 月 用

、 ヌ ヌ 立 音 音 意 意

しめきり 一月三十日

(出品は一人一点に限る)

お清書には

しづめい・個人は
県名又は市名

小 三

きゆう せい・なまえ



「初参り」（はつまいり）

新年にはじめて神社やお寺にお参りすることをいいます。

新しい年のスタートを、明るく元気いっぱい作品を書いていきましょう。

※ ※

初：一画めの点の間をあけて二画めを書き、三画めは上の点よりやや左で払いに接する。「刀」は上部をあけます。

参：左右の払いをのびやかに、「彡」の左払いは徐々に長く書きま

す。
り：二画めをややさげて、たて長に書きます。

※筆順

、ネネネ初初
ムムム参参参

しめきり 一月三十日

（出品は一人一点に限る）

お清書には
支部名・個人は
県名又は市名
小
四
きゆう
せい・なまえ



「除雪車」(じよせつしゃ)

雪の多い地区で、道路や鉄道線路の除雪を行う車両のことを言います。雪をかき分けたり飛ばしたりする。ラッセル式・ロータリー式・かき寄せ式などがあるそうです。

※ ※

除：「余」の右の払いがはみ出さないように気を付けましょう。扁はやや細長で書く。

雪：「雨」と「ヨ」はほぼ二等分に書く。「ヨ」は小さめに書くとバランスがよい。「雨」の点の配置に気を付けよう。

車：横画が多い字なので角度やそれぞれの長さ、間隔に注意しよう。縦画はブレることなく真つすぐに書こう。

※筆順

除 除 除 除 除
 雪 雪 雪 雪 雪
 車 車 車 車 車

しめきり 一月三十日

(出品は一人一点に限る)

お清書には

支部名・個人は
県名又は市名

小五

きゆう せい・なまえ

美 表 現 的

「美的表現」(びてきひょうげん)

意味：美しい形として表したもの
す。あけましておめでとうございま
す。いよいよ小学校の締めくくりに
時期に入りましたね。
美的表現の例として、日本庭園
は、自然のものをうまく使って美し
い風景を作り出しています。また、
仁王像なども力強い美しさを表現し
ていますね。

※ ※

美：縦画が左右をほぼ二等分しま
す。一・二横画は右を三分し
書きます。横画は右がりに平
行に書きます。「大」は横長に
書きます。

的：扁は旁よりやや幅せまく書きま
す。「白」の横画は等間隔に書
きます。三・高めと七画めの横
画がほぼ同じ高さになります。七
画めのはねは、上よりも横にす
るとうまく見えます。

表：二画めが左右の中心になりま
す。横画は幅をせはめ、右上が
りに等間隔に書きます。五画め
の左払いと八画めの右払いは長
くゆつたりと書きたいです。ね
くゆつたりと書きたいたいです。ね
現：一画めと六画めの横画をほぼ同
払いの高さに書きます。十画め
の扁の下までのびのびと書
きます。十一画めは真上にはね
るようにするとよいです。ね

※筆順
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一

一 十 五 五 五 五 五 五 五 五 五
一 十 五 五 五 五 五 五 五 五 五

しめきり 一月三十日

(出品は一人二点に限る)

お清書には
支部名・個人は
県名又は市名
小 六
きゅう せい・なまえ



「一念発起」（いちねんほつき）

意味：それまでの考えを改め、あることを成し遂げようと決意し、熱心に励むこと。また、今までの気持ちを改めて仏道に入り悟りを開こうと固く決心すること。

※ ※

一…始筆は約四十五度に筆を紙面におろし、筆圧を加えて、右に下がらないよう注意して送筆する。終筆ではほ先をおし返すようにしておさめる。

念…一、二画めの左右の払いが長く、対照的に書く。「心」の一面めは左に少し離して書き、そのりはやや扁平にはねは内側にはねる。上部と下部のバランスに注意しながら書く。

発…「はつがしら」は、かさの広がりや左右の払いの方向に気をつけ、伸びやかに書く。筆潤に気をつけ、ほ先を使ってリズムのある運筆をする。

起…「そうによう」の横画の右端をそろえて止める。「己」は一、三画めの間開始筆して「そうによう」の上ののせるように書く。「そうによう」の左はらいや短めに、右払いは左払いより右斜め下に引きながらゆつくりと長く払う。

しめきり 一月三十日

（出品は一人一点に限る）

お清書には

支部名・個人は
県名又は市名

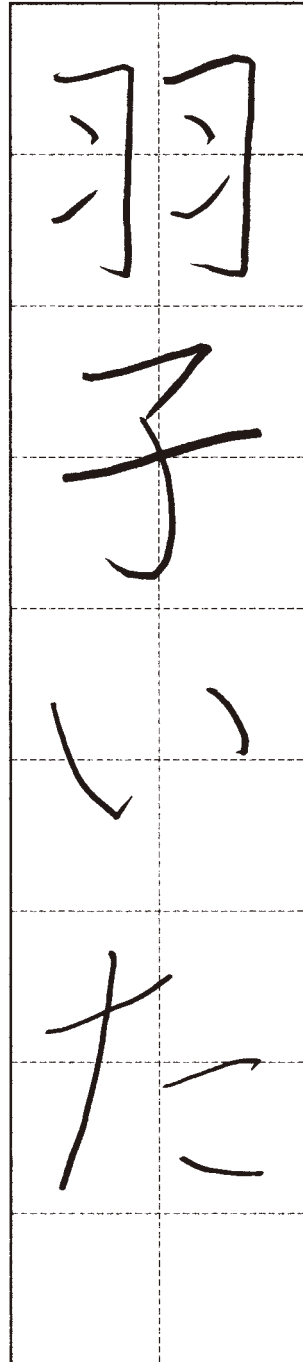
中学（必ず学年記入）段級

姓名

硬筆科

幼年・小学一・二年手本 (黒色えんぴつBか2Bで書くこと)

成島北水書

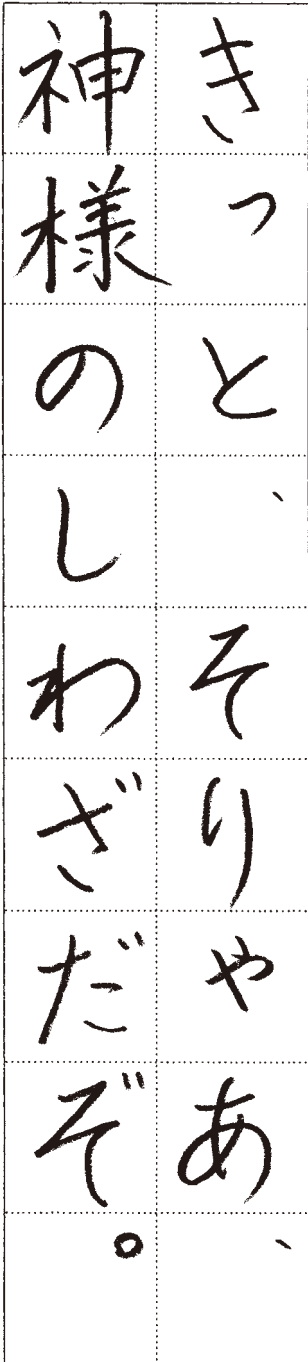


※低学年の「支部・学園・段級・氏名」は左欄外に補足書きして下さい。

小学三・四年手本

(黒色えんぴつBか2Bで書くこと)

日賀野 千恵子 書



小学五・六年手本

(黒色のサインペン・万年筆・ボールペンなどで書くこと)

日賀野 琢書

ま	ず	、	北	斗	七	星	を	探
し	て	み	ま	し	よ	う	。	

中学一・二・三年手本

(黒色のサインペン・万年筆・ボールペンなどで書くこと)

赤澤 豊書

親	ゆ	ず	り	の	無	鉄	砲	で	子	供	の
と	き	か	ら	損	ば	か	り	し	て	い	る

出品のきまり

- ▽臥龍会選定硬筆用紙を必ず使用すること。
- ▽硬筆科の段落は毛筆科と共通。
- ▽清書には消しゴムは使わないこと。

しめきり

一月三十日

学生部選定硬筆用紙一冊(30枚) 110円